



移動スーパーとの連携を!

櫻井 直樹



Q 買い物に不自由を感じている高齢者を支援しながら、高齢者の見守り活動にもつながる「移動スーパー」との連携が取れないか。

A 手軽に買い物ができる「移動スーパー」はとても便利な支援形態であり、有益なサービスのひとつと認識している。また、地域の見守り活動などの役割を担うため、自治体と連携している事例もある。「移動スーパー」と連携している自治体事例を調査研究するとともに、関係部署とも連携を共有したいと考えている。



インスタントハウスの活用

若杉 たかし



Q 名古屋工業大学大学院、北川教授が研究開発した、インスタントハウスが被災地、輪島市で大変活躍している。数時間で建設でき夏の台風にも耐え、冬の断熱効果も高いインスタントハウスを尾張旭市が被災した場合に活用できないか検討してほしい。

A 本市は、インスタントハウスの開発者である北川教授の所属する名古屋工業大学と防災まちづくりに関する協定を結んでいるので、インスタントハウスの活用状況等について研究していきたい。



駅前再開発いくら必要なの

川村 つよし



Q 物価や人件費の高騰があり、それらは今後も続くと思われる。このまま再開発事業を進めてよいものか強い疑念を持っている。まだ市費がいくら必要になるかハッキリしない状況なのか。

A 事業区域内では既に転出により空き店舗、空き家の増加による収益の減少、治安の悪化を懸念する権利者や地域の方から事業の早期完了が求められている。計画の見直しを進めている段階で、市の負担額をお答えできるような段階にない。



屋神温泉の足湯によるPR

市原 誠二



Q 市役所玄関に「尾張あさひ苑」の源泉を用いた足湯で施設PRを行うべき。

A PR効果が高いと考えるが、阿智村の区域外への温泉の運搬が条例により禁止されており、実施することができない。



※この写真はイメージです





朝の子どもの居場所

いとう 伸一



Q 共働き家庭が増加し、両親が朝早く出勤し登校前に子どもだけで過ごす場合に、小学校内の施設を開放し、始業前の子どもの居場所にすることを提案する。

A 小学校内の施設を利用し、シルバー人材が事業受託するとしても、児童の安全が確保されることが前提で、児童への理解や救急時対応など体制整備が必要である。未就学児については、令和8年度に開所する2か所の民間保育所においては朝7時からの延長保育を実施する予定である。



高齢者外出支援について

秋田 さとし



Q 高齢者外出支援の交付率、利用率と高齢者外出支援の本来の趣旨を踏まえて今後の課題、改善策について伺う。

A 令和5年度の交付率は、タクシー利用券のみが35.4%、あさぴー号利用券のみが7.9%、タクシー利用券とあさぴー号利用券の併用が18.2%で、利用率はタクシー利用券29.0%、あさぴー号利用券が41.5%になっている。タクシーの利用券という限定的な範囲で見直しを図るのではなく、幅広くかつ新たな視点で検討する。



民生委員の負担軽減を！

丸山 幸子



Q 民生委員の高齢者などの実態調査訪問は、暑い時期に重なり大きな負担となっている。民生委員の負担軽減について見解を伺う。

A 民生委員の皆さんに活動しやすい環境で、役割を十分発揮していただくためには、市ができる限り活動をサポートすることが重要と考えている。民生委員の皆さんが、相談しやすい体制づくりに努めている。今後は、少しでも調査の期間を延ばすことができないか関係課と協議したいと考えている。



あさひAEDサポートとは

日比野 和雄



Q あさひAEDサポート事業について伺う。

A 1点目は市内で開催されるイベントに無償でAEDを貸出す「AEDの貸出制度」。2点目は市内所在のAED設置施設に登録を依頼し、設置場所を公表することで地域のAEDとして有効活用する「AEDの登録制度」。3点目は登録されたAED設置施設のAEDに係る消耗品の交換時期などの管理情報を提供するとともに日常点検の啓発をする「AEDの管理支援制度」がある。





旭の祭りと周年事業を考察

谷口 武司



Q

「棒の手」「馬の塔」等と重複して、地域の祭り(郷祭)を文化財指定することは可能か。

A

長久手市では、地域の祭り(郷祭)自体を文化財に指定している。本市では、個々の保存会があるものの、地域の祭り(郷祭)自体に保存会等の組織がない。文化財に指定するには地域の方のご意見を聞く必要がある。



自衛隊中学職場体験やめよ

榊原 利宏



Q

自衛隊は軍隊であり賭命義務が課され、企業や官庁と異なる。中学の職場体験での自衛隊の実績、武器を見たり触れたりしたか。体験先にすべきではないのではないか。

A

守山駐屯地に2校から延べ41名が学習。各種車両は見たが、殺傷能力のある銃器や装備の見学、接触はしていない。自衛隊の職場体験は保護者の理解が必要な危険を伴うものではない。自衛隊は「様々な職業の一つ」。



中学校の休日部活動

安田 吉宏



Q

地域連携における「東邦ガス」との協定について。

A

休日部活動の実証実験を「西中学校」において実施する。「東邦ガス」(グループも含む)の社員が「副業」として「外部指導者」となり、休日部活動の指導、主に「技術指導」を行う。(ソフトボール部、バレーボール部、剣道部)(令和7年3月時点)謝礼は1時間2,000円。協定期間は令和8年3月末まで。同社以外の事業者との連携についても、積極的に推し進める。



ナンバープレートについて

片淵 卓三



Q

交付してから11年が経過している。新たなデザインを検討してはどうかと思うが。



A

市のPRポイントやふるさととしての愛着心の醸成、そのほか在庫の状況などを踏まえ、新たなデザインの採用、採用した場合の切り替えるタイミングなど、今後の方向性を検討していきたい。

